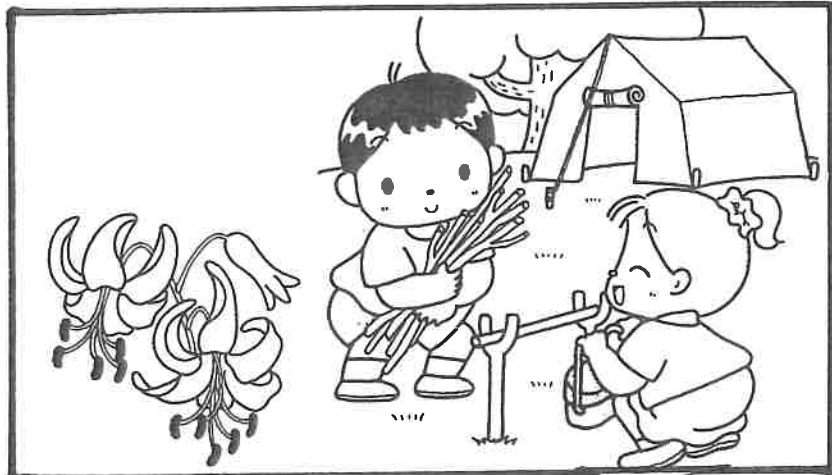


# つくしんぼ No.5

つくしこども園



## 8月のテーマ

たのしい夏

## 保育の目標

夏のおそびを十分に経験し  
健康で安全な夏を過ごす

## 子どもの様子

暑い日はプールあそびが一番！

今年も、強烈な太陽の季節に入りました。暑い日は、朝の集会が終わると、クラス別の時間割に従って、子ども達の大好きなプール遊びが始まりました。今年も、コロナ禍のために、例年と異なり、4～5歳児も、水慣れ主体の「プールあそび」に変更して実施しています。

顔に水がかかると、嫌がる子もいると思いますが、お風呂嫌いな子も、徐々に顔に水がかかっても平気になり、自分から水に潜ったりして、みんなで歓声をあげて楽しんでいます。

でも、暑い夏は短いものです。ご家庭でも、親子でたのしく、夏にしかできない体験を沢山して、元気に過ごしましょう。

☆ シャワー、プールあそびを通して、毎日の衣服の着脱が上手になってきます。例年、プール用品の始末も、時々取違いはありますが、年齢相応に上手に片付けられるようになってきます。

特に3歳未満児クラスの子は、オムツが取れるよい機会でもありますので、ご家庭と園の連携で、オムツから、パンツへ切り替えさせてあげましょう。

☆ 今までできなかった事が、できるようになった時や、一生懸命チャレンジしている時には、大いに褒めてあげてください。

## 保健衛生

夏風邪にご用心！

◇ 今年も、雨の無い梅雨だったのででしょうか、連日暑い日が続いています。熱中症の心配も出てきます。例年、多数の死者や重症者が出ている怖い病気です。また、熱帯夜で寝苦しい日もあり、冷房等で風邪をひいたり、冷たい物を飲みすぎたり、食べすぎてお腹をこわしたりと、体調を崩しやすい季節でもあります。

例年この時期は、急に高熱が出る、ヘルパンギーナ・プール熱・手足口病、流行性耳下腺炎等の病気が感染しますので、ご注意ください。

◇ コロナ対応として、37.5℃以上発熱の場合は、24時間の休息が必要です。

◇ 高熱の風邪の場合は「熱が下がったから……」といって、翌日早速登園して、また発熱。そして長期欠席……というケースが多くあります。また、高熱が続く場合は、肺炎になる心配もあり、悪化すると、死に至る事もありますので、安易に考えずにお子さんの体を大事にしてあげてください。お子様の健康回復のために、解熱後もう1日休ませて、完治させてあげましょう。

◇ お部屋の温度・湿度管理や、子ども達の健康管理に十分気を付けて、暑い夏を乗り越えましょう。

◇ 当園では、全室にエアコンが設置されておりますので、子ども達の健康上、エアコンを必要最小限に使用して、少年年齢児は、暑い日には、外気温との温度差5℃以内に配慮して、温度管理に留意しています。しかし、今年も、異常に暑い日が続くとされていることから、クラスのお部屋は、常時適温に冷房いたしております。

3～5歳児は、冷たいお水の水筒持参のご協力をして貰い、熱中症予防に努めております。ご協力ありがとうございます。

◇ **あせも・とびひ・水いぼ**等、皮膚疾患の流行期です。虫さされすり傷などから「とびひ」になったり、**あせも**からも「とびひ」になったりもします。気をつけましょう。

・ 新陳代謝の著しい子ども達です。1日の締めくくりとして、お風呂等で体をきれいに洗ってあげてください。

◇ 食べ物が腐敗しやすい季節です。O-157やノロウイルスも多く発生しています。食事前、あそび後、外出後には**石けんを使って丁寧に手洗い**をする事を徹底して、予防に努めて下さい。

“こわーい食中毒にご注意ください！”

◇ 「**熱中症**」にご注意を！

熱中症とは、熱さによって体温の調節がうまくいかずに起こる目まいや頭痛、ひきつけ、意識障害などの様々な症状のことです。

★ 小まめに水分補給をする等、予防に努めてください。

## おしらせ&おねがい



○ 今年も、暑い夏と言われており、梅雨明け前から30度を超える真夏日が続きました。

これからも、猛暑日や熱帯夜もあつたりして、寝苦しくて十分な睡眠が取れずに疲労が蓄積します。そんな時こそ、小さなお子さんは、規則正しい生活を送らせ、早寝、早起きで睡眠時間を十分(10時間)にとらせて、食事は1日3回しっかり食べさせるように、心がけましょう！

☆ 夏バテや熱中症にならないように、各ご家庭で健康管理をしっかりといたしましょう！

○ 「3～5歳児は、自分で用具の持ち帰りを！」

こども園では、毎日の登降園時には、[おたよりカバン・通園カバン・プールカバン]等、「自分の持ち物は自分で持ち帰りをする」事を約束しています。

でも、例年、お迎えの方に引き渡し後は、甘えん坊の王子様、お姫様に急変して、自分で出来る事もしないで、お迎えの方に、カバン等を持たせて帰る子を見受けます。

もう、どの子も成長しましたので、必要以上に手を掛けしないで「約束を守ろうね」と、ご家庭でも職員と同じ声かけをして、「自分でできる事は自分でする」事の徹底を図りましょう。

## 意義

- ◎ 自分の持ち物を知り、物を大切にする。(忘れ物・落とし物・間違いがなくなる)
- ◎ 登降園することの自覚・意識の確立
- ◎ 発達段階からは、十分に身の回りの始末ができる年齢

※ 「荷物を持ってやる、子どもの言いなりになる……」等、子どもが出来る事迄、手を出すことは保護過剰または、過保護と言われてます。

可愛いから何でも子どもの要求に応えると言う事は、自分でする「やる気」や「できた！」という成就の喜びを育てることができず、成長をストップさせてしまいます。

「お子さんのため……」を第一に考えるならば、園と足並みを揃えた教育を、ご一緒をお願いいたします。

